

月

日

名前

解答例

- 1 赤いリボンの長さは **30 cm**，青いリボンの長さは 6 cm です。
 青いリボンの長さは，**赤いリボンの長さの何倍**かを求める式として正しいのはどちらでしょう
 か。

$$30 \div 6$$



$$6 \div 30$$

- 2 黒いテープの長さは 42 m，白いテープの長さは 7 m です。
 黒いテープの長さは，白いテープの長さの何倍ですか。

式 $42 \div 7 = 6$

答え

6 倍

□□ は，△△ の **何倍** ですか？

⇒ 「△△」がもとになるので，わる数として式をつくろう！

3 学力調査の問題に挑戦！

下の表は，ある市の水の使用量をまとめたものです。

2010年の市全体の水の使用量は，1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。

市全体の水の使用量

年 (年)	1980	1990	2000	2010
使用量(万 m ³)	700	1100	1300	1400

式 $1400 \div 700 = 2$

答え (**約 2 倍**)

A ふり	平均	〇〇〇〇⑤⑥
------	----	--------

月
日
名前
(
解答例
)

1 下の表はあさっぴーの50m走の記録をまとめたものです。

とびぬけて大きかったり小さかったりする数は、ふくめないで平均を求める場合があります！

50m走の記録

1回め	2回め	3回め	4回め
9.56	9.61	18.16	9.44

3回めは転んでしまいました…。

(9.56+9.61+9.44)÷3

(9.56+9.61+18.16+9.44)÷4

2 下の表はふりがが10往復する時間を6回測定し、まとめたものです。

ふりがが10往復する時間

実験回数(会め)	1	2	3	4	5	6
10往復する時間(秒)	14	7	15	14	14	15

2回めは正しく測定できませんでした…。

ふりがが10往復する時間の平均を求める正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア (14+15+14+14+15)÷5
イ (14+7+15+14+14+15)÷5
ウ (14+15+14+14+15)÷6
エ (14+7+15+14+14+15)÷6

答え (
ア
)

3 学力調査の問題に挑戦！

下の表はゴムの力で動く車の進んだきよりをまとめたものです。
車が進んだきよりの平均が何cmになるか求める正しい式を1つ選んで、その記号を書きましょう。

回数	車が進んだきより
1	2m73cm
2	80cm
3	2m87cm
4	2m69cm
5	2m91cm

カ (273+287+269+291)÷4
キ (273+ 80+287+269+291)÷4
ク (273+287+269+291)÷5
ケ (273+ 80+287+269+291)÷5

2回めは、車が大きく曲がってしまい、記録を正しくはかることができませんでした。

答え (
カ
)

H29-G5B・G4D 改

A ぶり	平均②	〇〇〇〇⑤⑥
------	-----	--------

月
日
名前
(
解答例
)

1 あるサッカーチームの最近5試合の得点は、下の表のとおりでした。

最近5試合の得点					
試合	①	②	③	④	⑤
得点(点)	3	4	6	0	5

1 試合の得点が平均何点かを求める正しい式はどちらでしょうか？

$(3+4+6+0+5) \div 5$



$(3+4+6+5) \div 4$

2 下の表は、あさっぴーが4月から9月の間に読んだ小説の本の数を表しています。

読んだ小説の本の数						
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本の数(さつ)	1	2	4	0	5	3

1 か月に読んだ小説の本の数は、平均何さつでしょうか。

式
 $(1 + 2 + 4 + 0 + 5 + 3) \div 6 = 15 \div 6$
 $= 2.5$

ふつうは小数で表せないものも、平均では
小数で表すことがあります。

答え
(2.5 さつ)

3 学力調査の問題に挑戦！

下の表は、月曜日から金曜日までの5日間に、畑でとれたトマトの数を調べたものです。
この5日間では、1日に平均何個のトマトがとれたことになりますか。答えを書きましょ
う。

畑でとれたトマトの数					
曜日	月	火	水	木	金
トマトの数	6	3	2	0	9

式
 $(6 + 3 + 2 + 0 + 9) \div 5 = 20 \div 5$
 $= 4$

答え
(4 個)

月 日 名前

解答例

1 253と532の大きさをくらべます。どちらのくらべ方が正しいでしょうか？

253 VS 532

↑ ↑

小さな位から、くらべる。

253 VS 532

↑ ↑

大きな位から、くらべる。

くらべる位に線を引くとよいですね。

2 □に不等号（<か>）を書きましょう。

①

1 0 9 < 1 9 1

②

4 5 3 < 5 4 3

③

2 0 5 < 2 5 0

④

6 6 7 < 6 7 6

⑤

4 3 1 > 4 5

⑥

 7 7 < 7 1 4

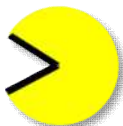
⑦

4 6 2 5 > 3 6 5 2

⑧

5 2 3 7 < 5 2 7 3

⑨

9 0 8 6 < 9 0 8 9

ぼくはくいしんぼう！大きな数の方に口をあけて食べちゃうよ！

3 学力調査の問題に挑戦！

下の①と②について、それぞれ2つの数の大小をくらべて、□に入る不等号を書きましよう。

①

7 5 > 2 5

②

1 0 4 < 1 1 2

月

日

名前

解答例

1 201 - 9を筆算で計算します。どちらの計算のしかたが正しいのでしょうか？

$$\begin{array}{r} 201 \\ - 9 \\ \hline 208 \end{array}$$

ふつうに一の位から計算します。



$$\begin{array}{r} 201 \\ - 9 \\ \hline 192 \end{array}$$

一の位はひけないので、百の位、十の位からくり下げていきます。

くり下がりがひつようか、たしかめてから筆算しましょう！

2 筆算で計算しましょう。

① 302 - 8	② 407 - 5	③ 503 - 7
$\begin{array}{r} 302 \\ - 8 \\ \hline 294 \end{array}$	$\begin{array}{r} 407 \\ - 5 \\ \hline 402 \end{array}$	$\begin{array}{r} 503 \\ - 7 \\ \hline 496 \end{array}$

筆算がとくいな人は、筆算のしかた(じゅんじょ)を言いながら計算してみましょう！

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。	
① 806 - 9 $\begin{array}{r} 806 \\ - 9 \\ \hline 797 \end{array}$ 答え (7 9 7)	② 905 - 8 $\begin{array}{r} 905 \\ - 8 \\ \hline 897 \end{array}$ 答え (8 9 7)
H23-G3A	H28-G3A

月

日

名前

解答例1 $5.6 + 3$ を計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + 3 \\ \hline 8.6 \end{array}$$

位をそろえて計算

たし算やひき算の学習では、いつも 位 を
いしきしましょう！

$$\begin{array}{r} 5.6 \\ + 3 \\ \hline 5.9 \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① $1.2 + 7$	② $5 + 4.3$	③ $7.9 + 2$
$\begin{array}{r} 1.2 \\ + 7 \\ \hline 8.2 \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ + 4.3 \\ \hline 9.3 \end{array}$	$\begin{array}{r} 7.9 \\ + 2 \\ \hline 9.9 \end{array}$

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。

① $10.3 + 4$

$$\begin{array}{r} 10.3 \\ + 4 \\ \hline 14.3 \end{array}$$

答え (**14.3**)

月

日

名前

解答例1 9.7×4 を計算します。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか？

$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

位をそろえて計算



$$\begin{array}{r} 9.7 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

右にそろえて計算

2 筆算で計算しましょう。

① 4.3×3

② 1.2×7

③ 12.6×3

小数点の動きを正しくマスターしましょう！

「小数点をおろす」とはちがいます！注意しましょう！

$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 3 \\ \hline 12.9 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 7 \\ \hline 8.4 \end{array}$	$\begin{array}{r} 12.6 \\ \times 3 \\ \hline 37.8 \end{array}$
---	--	--

3 学力調査の問題に挑戦！

筆算で計算しましょう。

① 13.9×7

② 90×0.7

$$\begin{array}{r} 13.9 \\ \times 7 \\ \hline 97.3 \end{array}$$

答え (97.3)

H26-G4A

$$\begin{array}{r} 90 \\ \times 0.7 \\ \hline 63.0 \end{array}$$

63.0, 63.
ではありません！

答え (63)

H29-G4A

月

日

名前

解答例1 $5 + 4 \times 3$ の計算をします。どちらの計算のしかたが正しいでしょうか。

$$5 + 4 \times 3 = 5 + 12$$

$$= 17$$

たし算とかけ算なら、かけ算を先に。



$$5 + 4 \times 3 = 9 + 3$$

$$= 12$$

左からじゅんに計算する。

とちゅうの計算を書くようにしましょう！
「＝」は たて にそろえるとよいですね。

2 計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad \underline{60 \times 2} - 80 = 120 - 80$$

$$= 40$$

$$\textcircled{2} \quad \underline{6 \times 8} - \underline{4 \div 2} = 48 - 2$$

$$= 46$$

$$\textcircled{3} \quad 150 - \underline{50 \div 2} = 150 - 25$$

$$= 125$$

3 学力調査の問題に挑戦！

計算しましょう。

$$\textcircled{1} \quad 100 - 20 \times 4$$

$$100 - 20 \times 4 = 100 - 80$$

$$= 20$$

答え (20)

$$\textcircled{2} \quad 6 + 0.5 \times 2$$

$$6 + 0.5 \times 2 = 6 + 1$$

$$= 7$$

答え (7)

月 日 名前 (

解答例

)

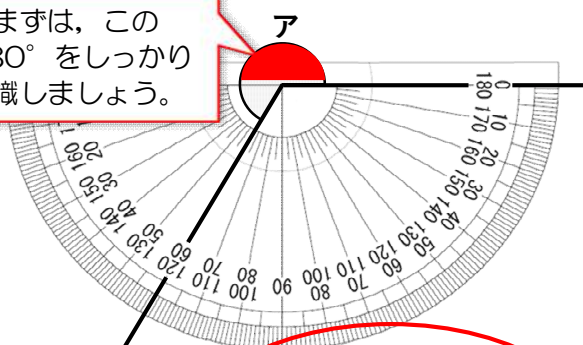
- 1 右の角アの大きさを分度器を使ってはかります。180 + 60 = 240 で求めたのはどちらの考え方でしょうか？

一回り分の角度は360° になる。
角アは、その360° から必要のない120° をひけばいいので240° になる。



一回転が360°，半回転が180° ですね。

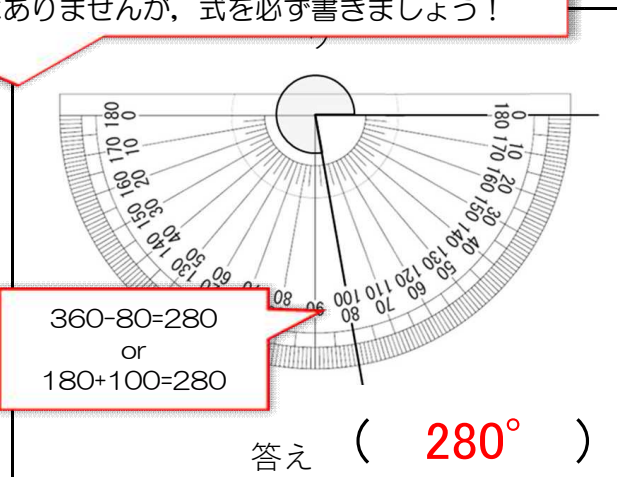
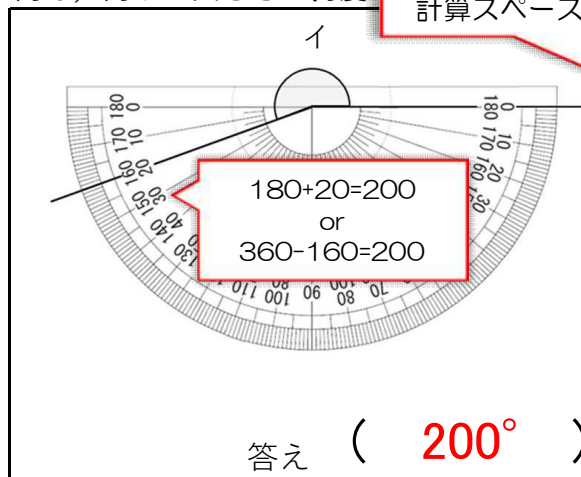
まずは、この180° をしっかり意識しましょう。



角アは、180° より大きい。
だから、180° に、こえてくる60° をたして240° になる。

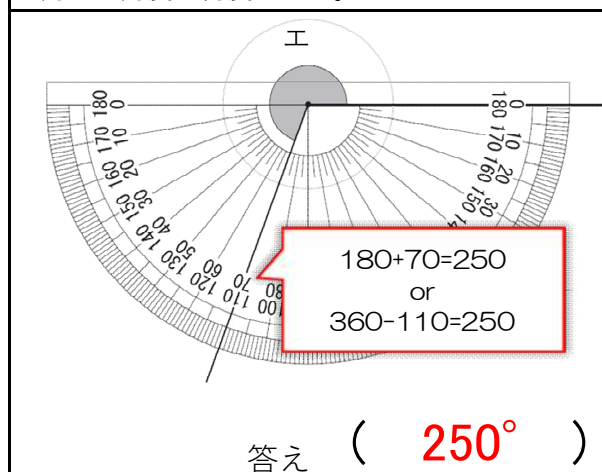
- 2 角イ、角ウの大きさは何度

計算スペースはありませんが、式を必ず書きましょう！



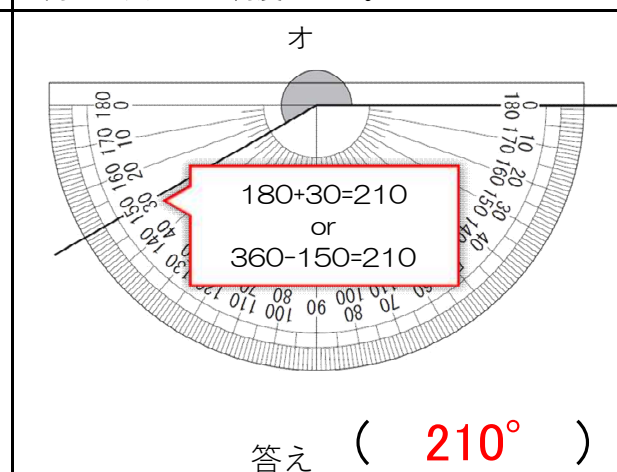
- 3 学力調査の問題に挑戦！

角エの角度は何度ですか。



H30-G4B

角オの大きさは何度ですか。



H27-G4B

A ぷり	がい数	〇〇〇④⑤⑥
------	-----	--------

月
日
名前(
解答例
)

1 3568を四捨五入して百の位までのがい数にします。どちらが正しいでしょうか？

6

3568

百の位までの概数にするのでひとつ前の十の位を四捨五入する。
答えは3600

四捨五入では、
①必ず\を引くこと
②\より右側は全て0になることをかならず確認しましょう！

4

3568

百の位までの概数にするので百の位を四捨五入する。
答えは4000

2 四捨五入をして、がい数にしましょう。

① 千の位まで 47091 答え (4 7 0 0 0)	② 一万の位まで 32051 答え (3 0 0 0 0)
③ 上から2けた 1018 答え (1 0 0 0)	④ 上から2けた 9089561 答え (9 0 0 0 0)

3 学力調査の問題に挑戦！

四捨五入して一万の位のがい数にしたとき、20000になる整数を、下の①から⑤までのの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- ① 14500 → 10000

② 15000 → 20000

③ 19500 → 20000

④ 24999 → 20000

⑤ 25000 → 30000

「すべて選ぶ」問題
には、注意深く取り組みましょう！

答え

(② , ③ , ④)

月

日

名前

解答例

- 1 たて3 cm, 横5 cm, 高さ4 cmの直方体があります。

この直方体の高さを3倍にしたときの体積は, もとの直方体の体積の何倍になるかを考えます。

この問題の答えの求め方として, すっきりとしているのはどちらでしょうか?

直方体のたてと横の長さが決まっているとき, 直方体の体積は高さに比例します

だから, 高さが3倍になれば, 体積も3倍になります。



比例は, 6年生でくわしく学習します。
しっかりと学習しておきましょう!

もと $3 \times 5 \times 4 = 60$
高さ3倍 $3 \times 5 \times (4 \times 3) = 180$
 $180 \div 60 = 3$
答え 3倍

- 2 底辺が4 cm, 高さが5 cmの三角形があります。

この三角形の高さを4倍にしたときの面積は, もとの三角形の面積の何倍になりますか。

説明しましょう。

三角形の(底辺)の長さが決まっているとき, 三角形の(面積)は(高さ)に(比例)します。

だから, 高さが4倍になれば, 面積も(4倍)になります。

- 3 学力調査の問題に挑戦!

下の文の()にあてはまるものを考えます。

円があります。この円の直径の長さを2倍にします。

このとき, 直径の長さを2倍にした円の円周の長さは, もとの円周の長さの()倍になります。

答え (2)

月

日

名前

解答例

1 6と4の最小公倍数を求めます。どちらの求め方が正しいでしょうか？

6の倍数 6,12,18,24,...

4の倍数 4,8,12,16,...

答え 12

2つの数の倍数で、最初に同じ数になるものをさがす。

 $6 \times 4 = 24$

答え 24

2つの数をかけて求める。

2 最小公倍数を

6の段と4の段で、最初に答えが同じになる数を探してみましょう！

ただ、2つの数をかけるだけでは、最小公倍数にならないことがあるので気をつけましょう！

① 6と9

9	9	18	27
6	6	12	18

答え (18)

② 3と18

18	18	36				
3	3	6	9	12	15	18

答え (18)

③ 10と12

12	12	24	36	48	60	
10	10	20	30	40	50	60

答え (60)

④ 2と3と9

9	9	18							
3	3	6	9	12	15	18			
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18

答え (18)

求め方はこれ以外にも、いろいろありますよ。

3 学力調査の問題に挑戦！

8と12の最小公倍数を書きましょう。

12	12	24	36
8	8	16	24

答え (24)

月 日 名前

解答例1 20×0.6 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらでしょうか。

まず、0.6に10をかけて、 20×6 の計算をします。
その答えを、10でわって、答は12になります。



まず、0.6に10をかけて、 20×6 の計算をします。
その答えに、10をかけて、答は1200になります。

0.6を10倍して整数に直して計算しましょう。その答えを10でわることも忘れないように気をつけましょう。

2 ()にあてはまる数を書きましょう。

① 30×0.2

$\rightarrow 30 \times (2) = (60)$

$(60) \div (10) = (6)$

答え(6)

② 7×0.8

$\rightarrow 7 \times (8) = (56)$

$(56) \div (10) = (5.6)$

答え(5.6)

3 学力調査の問題に挑戦！

60×0.4 の答えを求めるために、次のように、 60×4 の答えを使います。

60	×	0.4	=	X
		↓ 10をかける		↑
60	×	4	=	240

?ではどのようなことをしますか。

下のアからウまでの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ア 10をかける

イ 10でわる

ウ そのまま答えにする

答え (イ)

月 日 名前 (

解答例

)

1 3.5 ÷ 0.5 の計算の仕方を考えます。考え方が正しいのはどちらでしょうか。

まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。
わり算では、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」という性質があるので、答えは、7になります。



まず、3.5と0.5の両方に10をかけて、35÷5の計算をします。
わられる数にもわる数にも10をかけたので、「10×10=100」の100で35÷5の答えをわるので、答えは、0.07になります。

かけ算とのちがいに気をつけましょう！

2 ()にあてはまる数を書きましょう。

①

$$1.5 \div 0.3 = (15) \div (3)$$

$$= (5)$$

答え(5)

②

$$2 \div 0.4 = (20) \div (4)$$

$$= (5)$$

答え(5)

3 学力調査の問題に挑戦！

2.1 ÷ 0.7 を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

2.1	÷	0.7	=	ウ
↓		↓		↑
10をかける		10をかける		
ア	÷	7	=	イ

上の、ア、イ、ウに入る数を書きましょう。

ア (2 1)

イ (3)

ウ (3)

月 日 名前 (解答例)

1 3 ÷ 7 の答えを分数で表します。どちらの表し方が正しいでしょうか。

$$3 \div \underline{7} = \frac{3}{7}$$

わる数が分母になる。



$$\underline{3} \div 7 = \frac{7}{3}$$

わられる数が分母になる。

分数の線の下の方が「分母」、線の上の方が「分子」です！しっかりおぼえましょう！

2 商を分数や整数で表しましょう。また、約分できるものは、約分しましょう。

① 1 ÷ 7 答え ($\frac{1}{7}$)	② 3 ÷ 5 答え ($\frac{3}{5}$)	③ 11 ÷ 4 答え ($\frac{11}{4}$) ($2\frac{3}{4}$)
④ 3 ÷ 12 答え ($\frac{1}{4}$)	⑤ 12 ÷ 8 約分をわすれずにしましょう！ 答え ($\frac{3}{2}$) ($1\frac{1}{2}$)	⑥ 18 ÷ 4 答え ($\frac{9}{2}$) ($4\frac{1}{2}$)
⑦ 9 ÷ 10 答え ($\frac{9}{10}$)	⑧ 8 ÷ 7 答え ($\frac{8}{7}$) ($1\frac{1}{7}$)	⑨ 7 ÷ 28 約分をわすれずにしましょう！ 答え ($\frac{1}{4}$)

3 学力調査の問題に挑戦！

商を分数で表しましょう。	
① 5 ÷ 9 答え ($\frac{5}{9}$)	② 2 ÷ 3 答え ($\frac{2}{3}$)
H29-G5A	H20-G5A

A ぷり

単位量あたりの大きさ

○○○○○⑤⑥

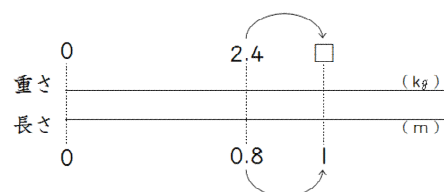
月

日

名前

解答例

- 1 0.8 mで2.4 k gの金属のパイプがあります。
このパイプの1 mの重さを求める正しい式はどちら
でしょうか？



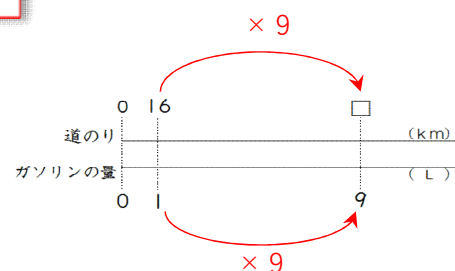
$$2.4 \div 0.8$$



$$2.4 \times 0.8$$

○上下とも、右に行くほど数が大きくなります。
○矢印は口に向かってかき、上下の向きをそろえます。

- 2 1 Lのガソリンで16 k m走る自動車があります。
この自動車は、9 Lのガソリンで何k m走るでしょうか。
数直線をもとに、式を作りましょう。



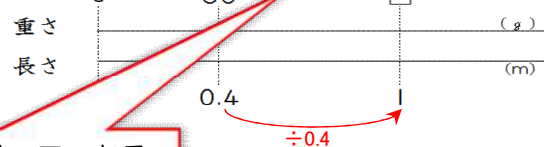
式

$$16 \times 9$$

1のある段を見て、矢印の向きに
そって数の関係を考えましょう。

3 学力調査の問題に挑戦！

0.4 mの重さが60 gの針金があります。
この針金1 mの重さを求める式を、下の1から4
までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



式を作るときには、口のある
段を見て、矢印の向きの順に式
にしましょう！

同じ数同士でわれば、
1になりますね。

- 1 $60 + 0.4$
- 2 60×0.4
- 3 $60 \div 0.4$
- 4 $60 - 0.4$

答え (3)

月 日 名前 (

解答例

)

- 1 ある学校の5年生の人数は80人です。アンケートではそのうち50人が「算数が好き」と答えました。算数が好きな人の割合が何%を求める式で正しいのはどちらでしょうか？

$$\begin{aligned} 80 \div 50 \times 100 \\ = 1.6 \times 100 \\ = 160 \end{aligned}$$

答え 160%



$$\begin{aligned} 50 \div 80 \times 100 \\ = 0.625 \times 100 \\ = 62.5 \end{aligned}$$

答え 62.5%

100倍をわすれないように、「×100」を入れて一つの式に表しましょう。

- 2 ある電車の定員は140人です。
ある日、実際に245人が乗ったそうです。
このときの乗車率は何%を求める式を書きましょう。

問題文の中に、「く」「も」「わ」を書きこむ習慣を付けさせましょう。

式

$$245 \div 140 \times 100$$

く÷も=わ
わ×100=百分率(%)

もとにする量は、「全部」「全体」「先に決まっている数」のことが多いよ。

比べられる量は、「一部」「部分」「後から決まる数」のことが多いです！

- 3 学力調査の問題に挑戦！

ある会場に子どもたちが集まりました。
集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。
小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.4%
2 2.5%
3 40%
4 80%

式

$$\begin{aligned} 80 \div 200 \times 100 \\ = 0.4 \times 100 \\ = 40 \end{aligned}$$

式を必ず書きましょう。

答え (3)

A ぷり	こみぐあい	〇〇〇〇⑤⑥
------	-------	--------

月
日
名前
(
解答例
)

1 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ア $35 \div 7 = 5$
イ $24 \div 5 = 4.8$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ア	7	35
イ	5	24

上の計算からわかることは、どちらでしょうか？

1人あたりの面積は、5m²と4.8m²なので、イのほうがかんでいる。



1m²あたりの人数は、5人と4.8人なので、アのほうがかんでいる。

「〇〇あたり」がついている数が「わる数」になります。

2 次の表は、部屋の中にいる人数と部屋の面積を表しています。

どちらの部屋がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ウ $10 \div 25 = 0.4$
エ $12 \div 40 = 0.3$

部屋の中にいる人数と部屋の面積

	人数 (人)	面積 (m ²)
ウ	10	25
エ	12	40

上の計算からわかることを、次の①から④までのの中から選びましょう。

- ① 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、ウのほうがかんでいる。
- ② 1m²あたりの人数は、0.4人と0.3人なので、エのほうがかんでいる。
- ③ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、ウのほうがかんでいる。
- ④ 1人あたりの面積は、0.4m²と0.3m²なので、エのほうがかんでいる。

わり算の単位のしくみも思い出しましょう！

答え (①)

わり算で「わられる数」と「わる数」の単位がちがうときには、「わられる数」の単位が答えにつきます。

こみぐあいをくらべるときは、「1m²あたりの人数が多い」または「1人あたりの面積がせまい」ほうが、こんでいるといえます。

次のページに続きます。

3 学力調査の問題に挑戦！

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

カ $16 \div 8 = 2$
 キ $9 \div 5 = 1.8$

	人数 (人)	面積 (m^2)
カ	16	8
キ	9	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

① $1 m^2$ あたりの人数は、2 人と 1.8 人なので、カのほうがこんでいる。
 ② $1 m^2$ あたりの人数は、2 人と 1.8 人なので、キのほうがこんでいる。
 ③ 1 人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、カのほうがこんでいる。
 ④ 1 人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.8 m^2$ なので、キのほうがこんでいる。

答え (①)

H30-G5B・改

次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。
 どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

A $12 \div 6 = 2$
 B $8 \div 5 = 1.6$

	人数 (人)	面積 (m^2)
A	12	6
B	8	5

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の①から④までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

① $1 m^2$ あたりの人数は、2 人と 1.6 人なので、Aのほうがこんでいる。
 ② $1 m^2$ あたりの人数は、2 人と 1.6 人なので、Bのほうがこんでいる。
 ③ 1 人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Aのほうがこんでいる。
 ④ 1 人あたりの面積は、 $2 m^2$ と $1.6 m^2$ なので、Bのほうがこんでいる。

答え (①)

H25-G5B・改

月

日

名前

解答例

12-9のけいさんは、
まず、12を10と2にわけます。
つぎに、10から9をひくと1になります。
さいごに、のこっていた2と、1をたすと、
こたえは3になります。



13-8のしかたを、あさっぴーのせつめいをおて
ほんにして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※ () にあてはまる数を書きましょう。

1 3 - 8 のけいさんは、

まず、1 3 を(10) と(3) にわけます。

つぎに、(10) から(8) をひくと(2) になります。

さいごに、のこっていた(3) と、(2) をたすと、

こたえは(5) になります。

☆ レベルアップ！

1 1 - 7 のけいさんのしかたをせつめいしましょう。

1 1 - 7 のけいさんは、

まず、1 1 を1 0 と1 にわけます。

つぎに、1 0 から7 をひくと3 になります。

さいごに、のこっていた1 と、3 をたすと、

こたえは4 になります。

月 日 名前 (**解答例**)



37というかずは、
10を3こと、1を7こあわせたかずです。
そして、
十のくらいが3、一のくらいが7のかずです。



62はどんなかずか、あさっぴーのせつめいをおて
ほんにして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※ () にあてはまる数を書きましょう。

6 2 というかずは、

1 0 を (6) こと、1 を (2) こあわせたかずです。

そして、

十のくらいが (6)、一のくらいが (2) のかずです。

☆ レベルアップ！

9 5 はどんなかずかせつめいしましょう。

9 5 というかずは、

1 0 を 9 こと、1 を 5 こあわせたかずです。

そして、

十のくらいが 9、一のくらいが 5 のかずです。

月

日

名前

解答例

450は、10を何こあつめた数かというと、
 450は400と50に分けられて、
 400は10を40こあつめた数、
 50は10を5こあつめた数だから、
 あわせて、45こになります。



380は、10を何こあつめた数か、あさっぴーのせつめい
 をお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

380は、10を何こあつめた数かというと、

380は(**300**)と(**80**)に分けられて、

(**300**)は10を(**30**)こあつめた数、

(**80**)は10を(**8**)こあつめた数だから、

あわせて、(**38**)こになります。

☆ レベルアップ！

290は、10を何こあつめた数かせつめいしましょう。

290は、10を何こあつめた数かというと、

290は200と90に分けられて、

200は10を20こあつめた数、

90は10を 9こあつめた数だから、

あわせて、29こになります。

月

日

名前

解答例

100を23こあつめた数は、
23は20と3に分けられて、
100が20こで、2000、
100が 3こで、300だから、
あわせて、2300になります。



100を68こあつめた数はどんな数か、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

1 0 0 を 6 8 こあつめた数は、

6 8 は(**60**)と(**8**)に分けられて、

1 0 0 が(**60**)こで、(**6000**),

1 0 0 が(**8**)こで、(**800**)だから、

あわせて、(**6800**)になります。

☆ レベルアップ！

1 0 0 を 4 9 こあつめた数はどんな数かせつめいしましょう。

1 0 0 を 4 9 こあつめた数は、

4 9 は 4 0 と 9 に分けられて、

1 0 0 が 4 0 こで、 4 0 0 0 ,

1 0 0 が 9 こで、 9 0 0 だから、

あわせて、 4 9 0 0 になります。

A ぷり W

水のりょう

○②③④⑤⑥

月

日

名前

解答例

800mLと9dLでは、どちらのかさが多いかというと、
1dLは100mLなので、9dLは900mLになります。
だから、800mL<9dLとなります。



5dLと300mLでは、どちらのかさが多いか、あさっぴーの
せつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数や記号を書きましょう。

5 d Lと300mLでは、どちらのかさが多いかというと、

1 d Lは(100)mLなので、5 d Lは(500)mLになります。

だから、5 d L(>)300mLとなります。

☆ レベルアップ！

200mLと4 d Lでは、どちらのかさが多いかせつめいしましょう。

200mLと4 d Lでは、どちらのかさが多いかというと、

1 d Lは100mLなので、4 d Lは400mLになります。

だから、200mL<4 d Lとなります。

☆ レベルアップ！！

2 Lと700mLでは、どちらのかさが大きいかせつめいしましょう。

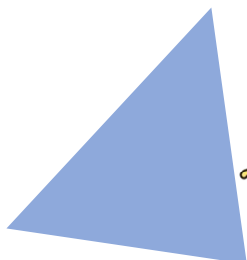
1 Lは(1000)mLなので、2 Lは(2000)mLになります。

だから、2 L(>)700mLとなります。

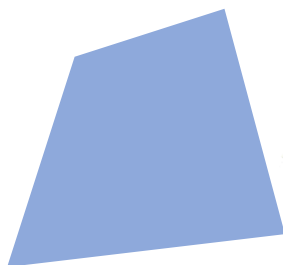
月

日

名前

解答例

これは、三角形という形です。
3本の直線でかこまれた形を三角形
といいます。



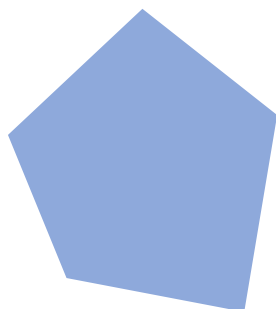
これは、四角形という形です。
四角形とはどんな形か、あさっぴーの
せつめいをお手本にして、せつめいしま
しょう。

◎ 書いてみよう！

4本の直線でかこまれた

形を四角形といいます。

☆ レベルアップ！！



これは、五角形という形です。

五角形はどんな形か、せつめいしましょう。

5本の直線でかこまれた

形を五角形といいます。

月

日

名前(

解答例

)

200×3の計算は、
 200は100を2こあつめた数なので、
 $2 \times 3 = 6$ で、
 ぜんぶで100を6こあつめた数になります。
 だから、 $200 \times 3 = 600$ になります。



400×6のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

1 書いてみよう！ ※()にあてはまる言葉や数を書きましょう。

4 0 0 は(100)を(4)こあつめた数なので、

(4)×(6)=(24)で、

ぜんぶで(100)を(24)こあつめた数になります。

だから、 $400 \times 6 = (2400)$ になります。

2 レベルアップ！

5 0 0 × 8 の計算のしかたをせつめいしましょう。

5 0 0 は1 0 0 を5 こあつめた数なので、

$5 \times 8 = 40$ で、

ぜんぶで1 0 0 を40 こあつめた数になります。

だから、 $500 \times 8 = 4000$ になります。

月

日

名前(

解答例

)

$\frac{2}{7} + \frac{3}{7}$ の計算は、
 $\frac{2}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が 2 ぶん、 $\frac{3}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が 3 ぶん、
 あわせると、 $2 + 3 = 5$ で、
 $\frac{1}{7}$ が 5 ぶんなので、答えは $\frac{5}{7}$ です。



$\frac{3}{9} + \frac{4}{9}$ のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※ () にあてはまる言葉や数を書きましょう。

$\frac{3}{9}$ は、($\frac{1}{9}$) が (3) ぶん、 $\frac{4}{9}$ は ($\frac{1}{9}$) が (4) ぶん、

あわせると、(3) + (4) = (7) で、

($\frac{1}{9}$) が (7) ぶん、答えは ($\frac{7}{9}$) です。

☆ レベルアップ！

$\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$ の計算のしかたをせつめいしましょう。

$\frac{1}{5}$ は、 $\frac{1}{5}$ が 1 ぶん、 $\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ が 2 ぶん、

あわせると、 $1 + 2 = 3$ で、

$\frac{1}{5}$ が 3 ぶん、答えは $\frac{3}{5}$ です。

A ぷり W

三角形

〇〇③④⑤⑥

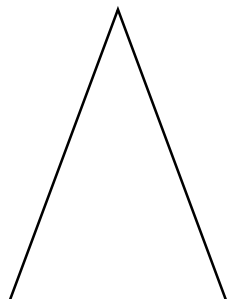
月

日

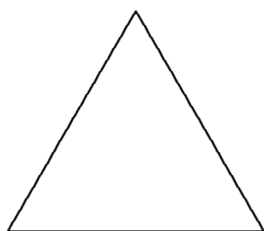
名前(

解答例

)



これは、二等辺三角形という形です。
2つの辺の長さが等しい三角形を、
二等辺三角形といいます。



これは、正三角形という形です。
正三角形とはどんな形か、あさっ
ぴーのせつめいをお手本にして、せつ
めいしましょう。

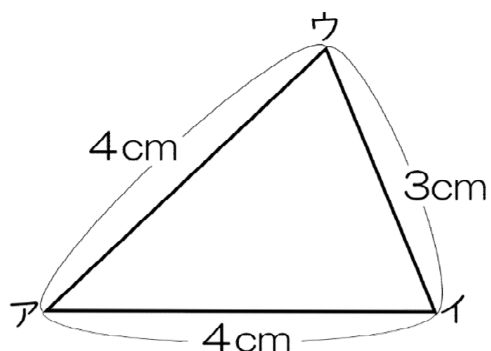
◎ 書いてみよう！

3つの辺の長さが等しい三角形

を、正三角形といいます。

☆ レベルアップ！！

下の三角形は、二等辺三角形です。そのわけを書きましょう。



例)

辺アイと辺アウの
2つの辺の長さが
等しいので、二等
辺三角形です。

月

日

名前

解答例

1200÷400の計算は、
100をもとにして考えると
 $1200 \div 100 = 12$, $400 \div 100 = 4$ で、
 $12 \div 4$ と等しくなるので、答えは3です。



3600÷900のしかたを、あさっぴーのせつめいを
 お手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

(**100**)をもとにして考えると、
 $3600 \div (\mathbf{100}) = (\mathbf{36})$, $900 \div (\mathbf{100}) = (\mathbf{9})$ で、
 $(\mathbf{36}) \div (\mathbf{9})$ と等しくなるので、答えは(**4**)です。

☆ レベルアップ！

5600÷700の計算のしかたをせつめいしましょう。

100をもとにして考えると、

$5600 \div 100 = 56$, $700 \div 100 = 7$ で、

$56 \div 7$ と等しくなるので、答えは8です。

☆ レベルアップ！！

1500÷50の計算のしかたをせつめいしましょう。

(**10**)をもとにして考えると、

(**1500**)÷(**10**)=(**150**), (**50**)÷(**10**)=(**5**)で、

(**150**)÷(**5**)と等しくなるので、答えは(**30**)です。

月

日

名前(

解答例

)

2.5+1.3の計算は、
 2.5は 0.1が 25こ、
 1.3は 0.1が 13こで、あわせると、
 0.1が 38こになるので、答えは3.8です。



1.2+2.7のしかたを、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！ ※()にあてはまる数を書きましょう。

1.2は、(**0.1**)が(**12**)こ、

2.7は、(**0.1**)が(**27**)こで、

あわせると、(**0.1**)が(**39**)こになるので、

答えは(**3.9**)です。

2 レベルアップ！

2.13+0.21の計算のしかたをせつめいしましょう。

2.13は、(**0.01**)が(**213**)こ、

0.21は、(**0.01**)が(**21**)こで、

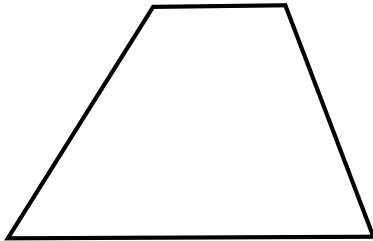
あわせると、(**0.01**)が(**234**)こになるので、

答えは(**2.34**)です。

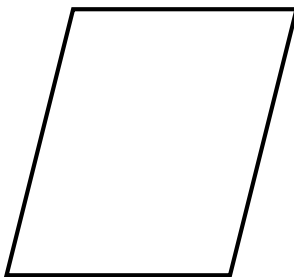
月

日

名前

解答例

これは、台形という形です。
向かい合った1組の辺が平行な四角形を、台形といいます。



これは、平行四辺形という形です。
平行四辺形とはどんな形か、あさっぴーのせつめいをお手本にして、せつめいしましょう。

◎ 書いてみよう！

向かい合った 2 組の辺が平行な

な四角形を、平行四辺形といいます。

☆ レベルアップ！

平行四辺形のせいしつ

平行四辺形では、次のことがいえます。

向かい合った**辺**の(**長さ**)は

(**等しく**)なっています。

向かい合った**角**の(**大きさ**)は

(**等しく**)なっています。

A ぷり W

正方形とひし形

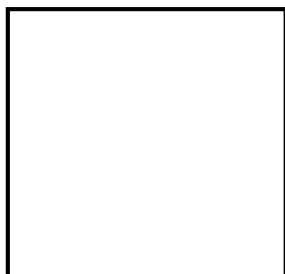
〇〇〇④⑤⑥

月

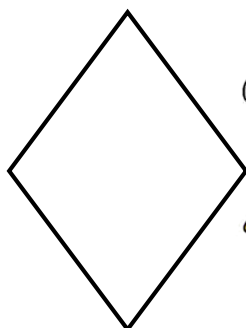
日

名前

解答例



これは、正方形という形です。
4つの角がすべて直角で、4つの辺の長さがすべて等しい四角形を正方形と
いいます。



これは、ひし形という形です。
ひし形とはどんな形か、せつめいしまし
う。

◎ 書いてみよう！

4つの辺の長さがすべて等しい

四角形を、ひし形といいます。

☆ レベルアップ！

ひし形のせいしつ

ひし形では、次のことがいえます。

向かい合った辺は(平行)になっています。

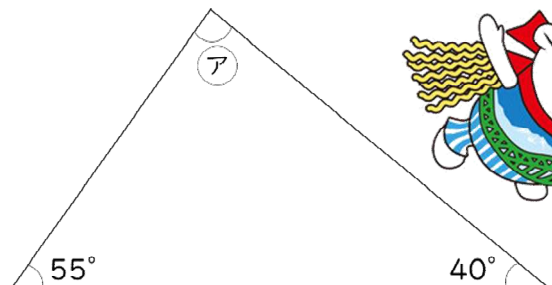
向かい合った角の(大きさ)は

(等しく)になっています。

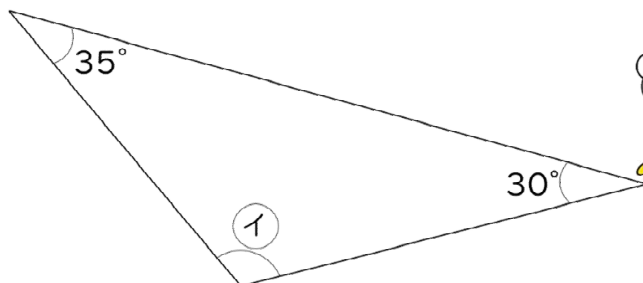
月

日

名前

解答例

角アの大きさを求めるには、
三角形の角の大きさの和は 180° なの
で、ア以外の角の大きさの和を180から
ひけばいいので、
 $180 - (55 + 40)$ で求められます。



角イの大きさの求め方を、あ
さっぴーの説明をお手本にして、
説明しましょう。

◎ 書いてみよう！

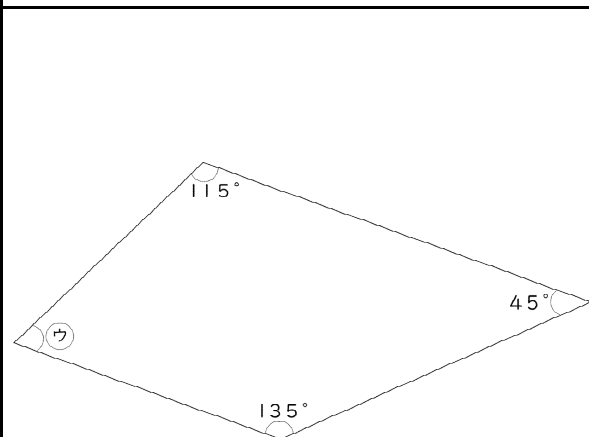
三角形の角の大きさの和は、(**180**)° なので、

イ以外の角の大きさの和を(**180**)からひけばいいので、

(**$180 - (35 + 30)$**)で求められます。

☆ レベルアップ！

角ウの大きさの求め方を説明しましょう。



四角形の角の大きさの和は、
(**360**)° なので、ウ以外の
角の大きさの和を(**360**)から
ひけばいいので、
(**$360 - (115 + 45 + 135)$**)で
求められます。